

第9回通常総会資料

令和3年6月

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

第 1 号 議 案

令和 2 年度事業報告書

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

令和 2 年度の当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 13 社 (前年度末比±0 社)

賛助会員 28 社 (前年度末比±0 社) 入会：(株)リミックスポイント

退会：リソル不動産(株)

2 理事会・総会の開催

- 1 例年であれば、5 月中に第 1 回理事会を開催すべきでところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本理事会を定款 34 条 2 項の規定により書面決議としました。(令和 2 年 4 月 27 日発信)

理事会議題 ① 令和元年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
② 理事・監事任期到来による新理事・監事選出の件
③ 令和 2 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件
④ 第 8 回通常総会を書面決議とする件

- 2 第 8 回通常総会の開催も例年 5 月中に開催すべきところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本通常総会を定款 19 条 3 項の規定により書面決議としました。(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 58 条・令和 2 年 5 月 22 日発信)

総会議題 ① 令和元年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
② 理事・監事任期到来による新理事・監事選出の件
③ 理事互選により会長、副会長、常務理事決定の報告 (理事会開催後)
④ 令和 2 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件
⑤ 新会員入会承認の件 (正会員 1 社、賛助会員 3 社)

- 3 令和 2 年度第 2 回理事会の開催についても、同様の理由から書面決議としました。
(令和 2 年 5 月 22 日発信)

理事会議題 ① 代表理事 (会長・副会長)、常務理事を選定する件

令和 2 年 5 月 26 日通常総会において、理事及び監事が全員再任された場合、伊藤與朗を代表理事 (会長)、鈴木健史を代表理事 (副会長)、今泉陽一を常務理事に選定する。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、常務理事が8月に宮城県石巻市・女川町・東松島市と女川駅近く変わったホテルを視察したので、その調査報告を後日ホームページに掲載しました。今年度は、新型コロナ感染の合間を縫って、10月20日～22日に㈱日本ハウスリゾート倶楽部の「ホテル森の風・那須」と「ホテル四季の館・那須」に宿泊し見学をしました。その後の新型コロナウイルスの感染拡大の影響で再度の調査・作業が遅れておりますが後日ホームページに掲載する予定です。

2 タイムシェア研究会の開催

開催できませんでした。

3 その他

ある会員制リゾートホテルを運営する非会員の会社より、体験宿泊の案内が届いたので、参考のために体験をしてきました。そのレポートは作成しましたが、公開は控えることとします。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフキャリアアップ研修講演会

今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、昨年度に引き続き開催できませんでした。

2 支配人・管理者研修会

前年度は、開催直前で中止を余儀なくされました。今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大で開催できませんでした。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

ホームページのアクセス数を上げるため、協会内のできごと、共催イベントのご案内、研究会の報告や常務理事の訪問先の調査・研究紀行文等ホームページ情報を大谷理事中心に随時更新してきました。さらに8年前から「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の調査研究資料を大谷理事に執筆をお願いし、今年度も掲載する予定です。又、消費者相談室

大谷理事に執筆をお願いし、今年度も掲載する予定です。又、消費者相談室から、悪質な業者情報について、随時お知らせすることとしていますが、今年度は特に新しい情報は入っておりません。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

新ホームページをアップロードしてから約 8 年経過しましたが、統計対象サイト上ではデータが消滅して数字が把握できませんでした。ホームページ上のアクセス数では、約 18 万 6 千回（前年度比+43 千回）となりました。更新頻度が少なかった割には、アクセス数はまずまずでした。

2 クラブとの共催イベントの実施

今年度も紀州鉄道の協力を得て、実施を計画しました。ただ、これも新型コロナウイルスの感染拡大のため中止をせざるを得ませんでした。従って、実績はありません。

3 観光庁関係の視察

不動産協会から観光庁が元締め「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」の現地視察に誘われたので参加しました。令和 3 年 2 月 7 日～10 日に和歌山県県庁の方々の案内で、高野山をはじめとした熊野古道を巡るものでした。「超」がつく海外富裕層にどのような提案をして、我が国にお金を落とさせるかの戦略を考えながらの現地視察で、いろいろ意見交換ができて参考になりました。

(4) リゾネット事業

本年度のリゾネット参加施設は 13 社、国内 31 施設（前年度比±0）でスタート。前期末にパンフレット 19,000 部（前年度比-2,800 部）を配布済。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	11	8月	241	12月	92
5月	0	9月	179	1月	56
6月	38	10月	157	2月	9
7月	137	11月	176	3月	77

本年度の利用者数合計 1,173 名（前年同期比 -58.4%）

前年度利用者数合計 2,819 名

利用実績は昨年度を大幅に下回っています。4 月 7 日～5 月 6 日まで新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発出され、その期間中はホテルの休館を余儀なくされたためです。その後 Go to travel キャンペーンもあり、少し

ーンが休止になったこともあり、苦戦が続きました。

こんな中でも、現状で送客の多いクラブは、セラヴィリゾート泉郷が大きく他を引き離してトップ、次いで鴨川リゾートクラブ、紀鉄クラブ。受入の多い施設は、断トツでヴィラ北軽井沢エルウィングです。

(5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりで、少なくなっています。

今年度12月までの特徴としては、前半は、少なくはなかったものの「終活」ブームに乗って、相変わらず会員権の処分についての相談が寄せられています。それに対応する悪質業者の情報は少なくなりましたが、また会社の名前を変えて続いており、注意が必要です。後半は逆に購入の相談がありました。仲介業者の安心度合いや、紹介依頼です。

従って、今年度は現状、注意喚起情報の発信はありません。

4 その他の事項

4月24日（金）令和元年度の会計監査（佐藤監事・朽本監事）を実施。

6月12日（金）内閣府公益認定等委員会へ「令和元年度の事業報告、収支決算報告、令和元年度の事業計画、収支予算」をネットにて提出。

11月4日（水）本年度上期の会計監査（佐藤監事）を実施。

以上

令和2年度消費者相談室取扱状況

(一社)日本リゾートクラブ協会
消費者相談室

1. 取扱件数	令和元年度	令和2年度	前年比増減
相談・問い合わせ	66	63	-3
苦情	0	0	0
合計	66	63	-3

2. 相談問い合わせの内訳	令和元年度	令和2年度	前年比増減
協会の案内・資料請求など	21	11	-10
会員権の売却検討	10	6	-4
会員権の購入検討	7	16	9
加盟会社の問い合わせ	8	11	3
非加盟会社の問い合わせ	10	8	-2
事業化相談・業界調査	7	8	1
その他	3	3	0
合計	66	63	-3

3. 苦情の内訳	令和元年度	令和2年度	前年比増減
個人	0	0	0
法人	0	0	0
預託制	0	0	0
共有制	0	0	0
その他システム	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0
勧誘	0	0	0
契約	0	0	0
解約・預託金返還	0	0	0
利用・料金	0	0	0
その他	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0

消費者センターからの相談・問合せ 12件

メディカル&リゾートソリューション関係 1件

第 8 期 決 算 報 告 書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

東京都渋谷区代々木 4 丁目 36 番 19 号
リゾートトラスト東京ビル 3 階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 與 朗

令和2年度収支計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異	
収入の部	1.入会金収入	150,000	50,000	100,000	
	正会員入会金	100,000	0	100,000	
	賛助会員入会金	50,000	50,000	0	
	2.会費収入	7,950,000	7,831,666	118,334	
	正会員会費	5,100,000	5,040,000	60,000	
	賛助会員会費	2,850,000	2,791,666	58,334	
	3.事業収入	2,640,000	807,413	1,832,587	
	調査・研究事業	0	0	0	
	研修会・セミナー事業	500,000	0	500,000	
	情報収集・提供事業	1,300,000	0	1,300,000	
	倫理審査事業	0	0	0	
	相互利用事業	840,000	807,413	32,587	
	消費者相談事業	0	0	0	
	4.その他収入	1,000	442	558	
	受取利息	1,000	442	558	
	雑収入	0	0	0	
	5.公益事業推進基金より	1,837,800	1,837,837	△ 37	
		収入合計	12,578,800	10,527,358	2,051,442

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	
支 出 の 部	1.事業費	7,110,000	5,371,891	1,738,109	
	調査・研究事業	1,500,000	1,322,715	177,285	
	研修会・セミナー事業	1,200,000	504,249	695,751	
	情報収集・提供事業	2,500,000	1,734,635	765,365	
	倫理審査事業	0	0	0	
	相互利用事業	1,400,000	1,315,352	84,648	
	消費者相談事業	510,000	494,940	15,060	
	2.管理費	2,767,000	2,100,745	666,255	
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0	
	法定福利費	58,000	33,163	24,837	
	会議費	350,000	299,475	50,525	
	旅費交通費	250,000	65,183	184,817	
	通信費	35,000	16,800	18,200	
	備品費	20,000	0	20,000	
	消耗品費	40,000	32,223	7,777	
	印刷費	5,000	0	5,000	
	新聞図書費	5,000	0	5,000	
	水道光熱費	14,000	9,672	4,328	
	賃借料	330,000	327,140	2,860	
	支払手数料	160,000	110,057	49,943	
	諸謝費	0	0	0	
	租税公課	70,000	70,000	0	
	情報交流費	50,000	0	50,000	
	諸雑費	300,000	57,032	242,968	
		3.予備費	200,000	0	200,000
		4.公益事業推進基金	0	0	0
	支出合計	10,077,000	7,472,636	2,604,364	
	当期収支差額	2,501,800	3,054,722	△ 552,922	
	前期繰越収支差額	7,833,891	10,576,230	△ 2,742,339	
	次期繰越収支差額	10,335,691	13,630,952	△ 3,295,261	

貸借対照表

(令和3年3月31日)

単位:円

	勘定科目		当年度	前年度	増減
	大科目	中科目			
資産の部	流動資産	現金	112,658	30,509	82,149
		普通預金	5,341,385	4,988,807	352,578
		定期預金	11,000,000	9,000,000	2,000,000
		未収金	-	-	0
	流動資産合計		16,454,043	14,019,316	2,434,727
	特定資産	公益事業 推進基金	4,062,934	5,900,771	△ 1,837,837
		特定資産合計	4,062,934	5,900,771	△ 1,837,837
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	72,800	0
		その他の固定資産 合計	72,800	72,800	0
	固定資産合計		4,135,734	5,973,571	△ 1,837,837
資産合計		20,589,777	19,992,887	596,890	
負債の部	流動負債	預り金	2,823,091	3,443,086	△ 619,995
		未払金	0	0	0
	流動負債合計		2,823,091	3,443,086	△ 619,995
正味財産の部	正味財産	正味財産	17,766,686	16,549,801	1,216,885
	正味財産合計		17,766,686	16,549,801	1,216,885
負債及び正味財産合計		20,589,777	19,992,887	596,890	

財 産 目 録

(令和3年3月31日)

単位:円

	勘 定 科 目		金 額	摘 要
	大 科 目	中 科 目		
資 産 の 部	流 動 資 産	現 金	112,658	手許現金
		普 通 預 金	5,341,385	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
		定 期 預 金	11,000,000	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
	流 動 資 産 合 計		16,454,043	
	特 定 資 産	公益事業推進基金	4,062,934	定期預金(三菱UFJ銀行・新宿中央支店)
	その他の固定資産	電 話 加 入 権	72,800	電話加入権
	固 定 資 産 合 計		4,135,734	
資 産 の 合 計		20,589,777		
負 債 の 部	流 動 負 債	預 り 金	2,823,091	次年度会費他
	流 動 負 債 合 計		2,823,091	
	負 債 の 合 計		2,823,091	
正 味 財 産		17,766,686		

計算書類に対する注記

特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 公益事業推進基金	5,900,771	0	1,837,837	4,062,934
合 計	5,900,771	0	1,837,837	4,062,934

令和元年度正味財産増減計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		50,000	200,000	△ 150,000
	正 会 員	0	100,000	△ 100,000
	賛 助 会 員	50,000	100,000	△ 50,000
受 取 会 費		7,831,666	7,461,666	370,000
	正 会 員	5,040,000	4,770,000	270,000
	賛 助 会 員	2,791,666	2,691,666	100,000
事 業 収 益		807,413	899,700	△ 92,287
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ ー	0	0	0
	情 報 収 集・提 供	0	58,500	△ 58,500
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	807,413	841,200	△ 33,787
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		442	1,281	△ 839
	受 取 利 息	442	1,281	△ 839
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,689,521	8,562,647	126,874
【経常費用】				
事 業 費		5,371,891	5,482,794	△ 110,903
	調 査・研 究	1,322,715	1,334,754	△ 12,039
	研 修 会・セ ミ ナ ー	504,249	518,849	△ 14,600
	情 報 収 集・提 供	1,734,635	1,659,461	75,174
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	1,315,352	1,466,647	△ 151,295
	消 費 者 相 談	494,940	503,083	△ 8,143
管 理 費		2,100,745	2,385,212	△ 284,467
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法 定 福 利 費	33,163	57,024	△ 23,861
	会 議 費	299,475	322,560	△ 23,085
	旅 費 交 通 費	65,183	131,622	△ 66,439
	通 信 費	16,800	34,700	△ 17,900
	備 品 費	0	2,084	△ 2,084
	消 耗 品 費	32,223	86,737	△ 54,514
	印 刷 費	0	3,456	△ 3,456
	新 聞 図 書 費	0	0	0
	水 道 光 熱 費	9,672	9,818	△ 146
	賃 借 料	327,140	324,654	2,486
	支 払 手 数 料	110,057	88,551	21,506
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情 報 交 流 費	0	22,000	△ 22,000
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	57,032	152,006	△ 94,974
経常費用計		7,472,636	7,868,006	△ 395,370
当 期 経 常 増 減 額		1,216,885	694,641	522,244
当 期 経 常 外 増 減 額		0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額		1,216,885	694,641	522,244
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高		16,549,801	15,855,160	694,641
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高		17,766,686	16,549,801	1,216,885

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		17,766,686	16,549,801	1,216,885
--------------	--	------------	------------	-----------

令和2年度正味財産計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		50,000	200,000	△ 150,000
	正 会 員	0	100,000	△ 100,000
	賛 助 会 員	50,000	100,000	△ 50,000
受取会費		7,831,666	7,461,666	370,000
	正 会 員	5,040,000	4,770,000	270,000
	賛 助 会 員	2,791,666	2,691,666	100,000
事業収益		807,413	899,700	△ 92,287
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	0	0	0
	情報収集・提供	0	58,500	△ 58,500
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	807,413	841,200	△ 33,787
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		442	1,281	△ 839
	受 取 利 息	442	1,281	△ 839
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,689,521	8,562,647	126,874
【経常費用】				
事業費		5,371,891	5,482,794	△ 110,903
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	77,381	133,056	△ 55,675
	旅費交通費	595,149	440,841	154,308
	通信費	160,226	172,229	△ 12,003
	備品費	5,253	136,666	△ 131,413
	消耗品費	26,902	22,091	4,811
	会議費	350,993	232,851	118,142
	印刷費	811,103	874,160	△ 63,057
	水道光熱費	22,569	22,907	△ 338
	賃借料	749,540	743,854	5,686
	諸謝費	0	0	0
	諸雑費	52,775	184,139	△ 131,364
管 理 費		2,100,745	2,385,212	△ 284,467
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	33,163	57,024	△ 23,861
	会 議 費	299,475	322,560	△ 23,085
	旅費交通費	65,183	131,622	△ 66,439
	通 信 費	16,800	34,700	△ 17,900
	備 品 費	0	2,084	△ 2,084
	消 耗 品 費	32,223	86,737	△ 54,514
	印 刷 費	0	3,456	△ 3,456
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	9,672	9,818	△ 146
	賃 借 料	327,140	324,654	2,486
	支払手数料	110,057	88,551	21,506
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	0	22,000	△ 22,000
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	57,032	152,006	△ 94,974
予備費		0	0	0
経常費用計		7,472,636	7,868,006	△ 395,370
経常増減額		1,216,885	694,641	522,244
経常外増減額		0	0	0
一般正味財産増減額		1,216,885	694,641	522,244
一般正味財産期首残高		16,549,801	15,855,160	694,641
一般正味財産期末残高		17,766,686	16,549,801	1,216,885

II 指定正味財産増減の部


当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		17,766,686	16,549,801	1,216,885

令和3年5月10日

監査報告書

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

監事 佐藤 茂 

監事 朽本 雅尚 

第8期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 佐藤 茂は会計帳簿の分野を中心に、監事 朽本 雅尚は法人業務の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

(参考資料)

公益目的財産額の推移

当協会の平成25年3月31日を算定日とする公益目的財産額は、18,193,892円です。

これ以降の公益目的支出計画と実施状況について、お知らせいたします。

(単位:円)

年 度	公益目的財産額		調査・研究事業		消費者相談事業		合 計	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
平成24年度		18,193,892						
平成25年度	16,173,892	16,155,305	1,500,000	1,506,143	520,000	532,444	2,020,000	2,038,587
平成26年度	14,153,892	14,212,671	1,500,000	1,405,322	520,000	537,312	2,020,000	1,942,634
平成27年度	12,133,892	12,185,738	1,500,000	1,505,209	520,000	521,724	2,020,000	2,026,933
平成28年度	10,113,892	10,142,845	1,500,000	1,506,939	520,000	535,954	2,020,000	2,042,893
平成29年度	8,093,892	7,948,469	1,500,000	1,690,956	520,000	503,420	2,020,000	2,194,376
平成30年度	6,073,892	5,900,771	1,500,000	1,545,475	520,000	502,223	2,020,000	2,047,698
令和元年度	4,053,892	4,062,934	1,500,000	1,334,754	520,000	503,083	2,020,000	1,837,837
令和2年度	2,033,892	2,245,279	1,500,000	1,322,715	520,000	494,940	2,020,000	1,817,655
令和3年度	13,892		1,500,000		520,000		2,020,000	
令和4年度								

第 2 号 議 案

令 和 3 年 度 事 業 計 画 書

昨年の世界の状況は、現状新型コロナウイルスの感染拡大のニュース一色でした。今回のウィルスは、2002年中国広東省で発症した SARS（重症急性呼吸器症候群）、2009年メキシコで発症し、アメリカで蔓延した新型インフルエンザ、2012年サウジアラビアで発症した MERS（中東呼吸器症候群）と比べても、感染力が強く世界中に拡散し、なおまだ変異をしながら拡散し続けております。我が国においても、収まる気配が見えない状況です。

経済面からみると、人も物も全く動かなく停滞したままであるため、どこの国も何も手を打てず、ただ手をこまねいている状況です。さらに、アメリカ大統領がトランプからバイデンに代わりましたが、アメリカと中国との確執が未だ続いており、我が国としても注視していく必要があると思われまます。感染拡大の収束と米中の問題が解決しないことには、先が見えない不安な状況に置かれたままと言えるでしょう。

わが国でも、「密集」「密閉」「密接」のいわゆる 3 密を控えることや、不要不急の外出の自粛が叫ばれております。また、東京オリンピック・パラリンピックも数か月後に無観客で開催されるとのことですが、まだ予断は許さないし、経済的損失も予想がつきません。

国や自治体も、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用といった形で政策を続けておりますが、国民自体がウィズコロナに慣れてきており効果も疑問視されております。さらにワクチン接種についても遅れており、いつになったら自分が接種できるのか不安を抱えたままです。

観光、宿泊等のサービス産業関係は、3 密を控えることや、不要不急の外出の自粛が叫ばれていることもあり、大きな打撃を受けております。飛行機、新幹線、観光バス等は、感染の恐れから空席が目立っているようです。幸い、会員制リゾートは、コロナ対策も万全ということで安心して泊まれるとの評価を得ていることや、従来海外に流れていた富裕層の国内回帰もあり、比較的影響が軽微であるとも言われております。また、マイクロツーリズムと言われるホテルの近隣の旅行客を取り込む試みも行われているようです。

こうした中で、協会の果たすべき役割は、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が前提になりますが、会員企業の経営安定のための情報の発信をしながら、リゾートクラブ産業の認知度及び信頼度のさらなる向上及び国民の皆様にも、安心感、親しみ、気軽さをもっといただけるような業界のイメージアップ戦略の遂行です。そのため、リゾート業界をさらに活性化していく手段として、次のような具体策を計画しました。

なお令和 3 年度の正会員の年会費は、令和 2 年度においてほとんど事業活動ができなかったことより、通常の半額を納めていただくこととしました。当然赤字決算となりますが、過去の繰越金で賄う予定です。

1 調査研究事業

(1) リゾートライフ調査研究・情報提供

公益目的支出事業の継続事業として、リゾートライフ調査研究・情報提供事業を実施します。これは、国内リゾート地域の歴史、風土、文化及びその魅力等を調査研究し、リゾートクラブシステムを最大活用したその地域の楽しみ方を、ホームページに分かりやすく掲載・紹介していくことです。昨年度は、新型コロナウイルスの感染の隙を見つけて大谷理事と日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部の「森の風那須」と「四季の館 那須」の見学をしました。その後、新型コロナウイルスの感染再拡大が始まったため調査が遅れておりますが、レポートができ次第、ホームページに掲載する予定です。今年度もまた大谷理事のご協力のもと、新型コロナウイルスの感染拡大が収束したところで、今まで実施していない会員企業の1~2施設を目標に視察する予定です。

また、「タイムシェア研究会」を一昨年から「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」のテーマで開催しておりますが、集まることができない現状、開催することが困難な状況が続きますが、重要且解決しなければならない問題を含んでおり、議論を継続していきたいと思っております。

1 研修会・セミナー事業

(1) ホテルスタッフ・管理部門対象の研修会の開催

昨年度もスタッフのキャリアアップを目的とした研修講演会を実施できませんでした。新型コロナウイルスの感染の状況次第ですが、本年度はスタッフ向けの研修会開催を検討します。

(2) 支配人・管理者研修会の開催

昨年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催できませんでした。これについても、新型コロナウイルスの感染の状況次第ですが、収束がはかられたところで支配人及び管理者のマネジメント能力、掌握力、社会性を高めるため、支配人・管理者向けの研修会を開催する予定です。

2 情報の収集と提供事業

(1) 会員制リゾートクラブ事業者の情報収集

現在国内で営業を継続している会員制リゾートクラブ事業者（会員各社も）についての情報を収集し、様々な資料を収集していくことはもちろん、その集めた資料を、ホームページを使って発信します。

(2) ホームページによる情報の提供

当協会のホームページは、加盟クラブを主体としたリゾートクラブの包括的なホームページという特徴があり、情報媒体としての広告価値が高いものと考えております。大谷理事を中心に更新作業を実施しておりますが、訪問数は着実に増加しております。今年度も関係者の意見を集約し、ページ内容を強化するとともに、常に最新性を保つよう随時更新して、魅力ある情報を発信し続けることとします。

(3) 新聞雑誌への広報等

新聞やテレビ・ラジオ等からの取材依頼についても積極的に対応し、会員制リゾートクラブの情報発信を続けていきます。毎年、日本生産性本部の「レジャー白書」への情報提供も続けております。

(4) 共催イベントの開催

より多くの人々にリゾートクラブの有用性を感じていただけるよう、加盟クラブと共同して、文化・趣味・健康・スポーツに関連するオープンなリゾートイベントを開催します。これも新型コロナウイルスの感染状況次第となりますが、新たなリゾートのファンを呼び込むためにも紀鉄クラブ以外の他クラブの企画の紹介もお願いいたします。

3 消費者相談事業

公益目的支出計画の継続事業として、消費者情報提供事業を実施します。

事業の内容としては、

- ① 会員制リゾートクラブへの入会に関する注意点の照会・相談対応
- ② 会員権の売買や譲渡に関する相談対応
- ③ 個別のリゾート事業者についての照会・相談対応
- ④ リゾート会員権に関する相談の中から、ホームページを通じてトラブル情報の発信

また、会員企業各社や消費者庁の国民生活センターとも情報を共有し、悪質な業者の排除に努めていきます。

5 相互利用事業

リゾネット事業

リゾネットは、協会加盟クラブの差別化策として、会員に大変好評で有意義なものであり、会員との結びつきを強化する事業となっております。現在 29 施設（-2）と紀鉄クラブと東京レジャーライフクラブで施設の減少がありましたが、今後リゾネット協議会での提案を踏まえた改善策の実現、ホームページ活用による施設ごとのタイムリーな情報提供により、さらに利用の促進を図る計画です。

6 その他重点事項

(1) 会員組織の拡大策

業界全体からみれば正会員については、新規に参入する企業も少なく、さらなる会員の増強は厳しい状況です。

その中で、未加入の健全な会員制リゾート事業者へのアプローチを続けることはもちろん、会員以外の会社に対して研修会等の行事に門戸を拡げるなどの方策により、正会員、賛助会員の新規入会促進への活動を推進します。

(2) 委員会機能の強化

時代の流れが速く、種々の課題が発生することに備え、合同委員会や各種協議会の機能を強化し、それらにスピーディーに対応できる体制を構築します。

令和3年度（第9期）収支予算書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

東京都渋谷区代々木4丁目36番19号
リポートrust東京ビル3階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 興 朗

令和3年度予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差異
1.入会金収入		150,000	150,000	0
	正会員	100,000	100,000	0
	賛助会員	50,000	50,000	0
2.会費収入		5,450,000	7,950,000	△ 2,500,000
	正会員	2,600,000	5,100,000	△ 2,500,000
	賛助会員	2,850,000	2,850,000	0
3.事業収入		1,780,000	2,640,000	△ 860,000
	調査・研究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	1,300,000	△ 800,000
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	780,000	840,000	△ 60,000
	消費者相談	0	0	0
4.その他収入		1,818,100	1,838,800	△ 20,700
	受取利息	500	1,000	△ 500
	雑収入	0	0	0
	公益事業推進基金から	1,817,600	1,837,800	△ 20,200
収入合計		9,198,100	12,578,800	△ 3,380,700

(支出の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差額
1.事業費		6,190,000	7,110,000	△ 920,000
	調査・研究	1,500,000	1,500,000	0
	研修会・セミナー	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
	情報収集・提供	1,800,000	2,500,000	△ 700,000
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	1,400,000	1,400,000	0
	消費者相談	490,000	510,000	△ 20,000
2.管理費		2,729,000	2,767,000	△ 38,000
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	58,000	△ 58,000
	会議費	350,000	350,000	0
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通信費	35,000	35,000	0
	備品費	20,000	20,000	0
	消耗品費	60,000	40,000	20,000
	印刷費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃借料	330,000	330,000	0
	支払手数料	160,000	160,000	0
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸雑費	300,000	300,000	0
3.予備費		200,000	200,000	0
4.公益事業推進基金		0	0	0
支出合計		9,119,000	10,077,000	△ 958,000
当期収支差額		79,100	2,501,800	△ 2,422,700
前期繰越収支差額		13,630,952	10,576,230	3,054,722
次期繰越収支差額		13,710,052	13,078,030	632,022

令和3年度収支予算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入金		150,000	150,000	0
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	50,000	50,000	0
受取会費		5,450,000	7,950,000	△ 2,500,000
	正 会 員	2,600,000	5,100,000	△ 2,500,000
	賛 助 会 員	2,850,000	2,850,000	0
事業収益		1,780,000	2,640,000	△ 860,000
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	1,300,000	△ 800,000
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	780,000	840,000	△ 60,000
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		1,818,100	2,021,000	△ 202,900
	受 取 利 息	500	1,000	△ 500
	雑 収 入	1,817,600	2,020,000	△ 202,400
経常収益計		9,198,100	12,761,000	△ 3,562,900
				0
【経常費用】				
事業費		6,190,000	7,110,000	△ 920,000
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	135,000	△ 135,000
	旅費交通費	700,000	750,000	△ 50,000
	通信費	100,000	200,000	△ 100,000
	備品費	80,000	80,000	0
	消耗品費	25,000	24,000	1,000
	会議費	600,000	750,000	△ 150,000
	印刷費	900,000	900,000	0
	水道光熱費	30,000	30,000	0
	賃借料	745,000	745,000	0
	諸謝費	250,000	250,000	0
	諸雑費	240,000	726,000	△ 486,000
管 理 費		2,729,000	2,765,000	△ 36,000
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	58,000	△ 58,000
	会 議 費	350,000	350,000	0
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通 信 費	35,000	35,000	0
	備 品 費	20,000	20,000	0
	消 耗 品 費	60,000	40,000	20,000
	印 刷 費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	12,000	2,000
	賃 借 料	330,000	330,000	0
	支払手数料	160,000	160,000	0
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	300,000	300,000	0
予備費		200,000	200,000	0
経常費用計		9,119,000	10,075,000	△ 956,000
経常増減額		79,100	2,686,000	△ 2,606,900
経常外増減額		△ 1,817,600	△ 2,020,000	202,400
一般正味財産増減額		△ 1,738,500	666,000	△ 2,404,500
一般正味財産期首残高		17,766,686	15,855,160	1,911,526
一般正味財産期末残高		16,028,186	16,521,160	△ 492,974

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		16,028,186	16,521,160	△ 492,974
--------------	--	------------	------------	-----------

■ 正 会 員 名 簿 (令和3年3月31日現在)

(株)エンゼル (エンゼルメンバーズクラブ)

代表取締役社長 安藤 敏幸 〒100-0006 千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 03-3201-6655

ウィンドム・デスティネーションズ・ジャパン(株) (サンダンス・リゾートクラブ)

代表取締役 Gary Croker 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-9 市ヶ谷 MSビル 03-5212-7400

(株)鴨川グランドホテル (鴨川リゾートクラブ)

代表取締役社長 鈴木 健史 〒296-0044 鴨川市広場 839-13 04-7094-5581

紀州鉄道(株) (紀鉄クラブ)

代表取締役社長 中川 源行 〒103-0015 中央区日本橋箱崎町 1-7 千歳ビル 03-3230-2261

(株)セラヴィリゾート泉郷 (オアシスクラブ)

会長 小西 滋 〒170-0005 豊島区南大塚 2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル 03-5981-2301

(株)ダイヤモンドソサエティ (ダイヤモンドホテルメンバーズ)

代表取締役会長 宗澤 政宏 〒540-0018 大阪市中央区粉川町 2-9 06-6765-1530

東京信用販売(株) (東京レジャーライフクラブ)

代表取締役社長 川名幸太郎 〒414-0002 静岡県伊東市湯川 4-2-15 伊東パウル 0557-36-6181

株式会社日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部 (みやび倶楽部)

代表取締役社長 池辺厚幸 〒102-0072 千代田区飯田橋 4-3-8 日本ハウスHD 飯田橋ビル 03-6265-6181

(株)萬代 (オテル・ド・マロニエクラブ)

代表取締役 枋本 雅尚 〒463-0070 名古屋市守山区新守山 3503 052-792-1100

Hilton Grand Vacations Japan 合同会社

代表社員 Jeffrey Bernier 〒160-6108 新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産ター 03-6866-4870

(株)マイステイズ・ホテル・マネジメント (エピナールリゾートクラブ)

代表取締役 代田 量一 〒100-0032 港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズ ノースター 14 階 03-6430-6830

(株)マグナ. リゾート (マグナ. リゾートクラブ)

代表取締役社長 條 勇二郎 〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 053-524-1311

リゾートトラスト(株) (プライベートリゾートエクシブ)

代表取締役フアンダー 伊藤 與朗 〒460-0005 名古屋市中区東桜 2-18-31 052-933-6000

■ 賛助会員名簿（令和3年3月31日現在）

あいおいニッセイ同和損害保険㈱	453-6116	名古屋市中村区平池町4-60-12カポハビル16F	052-563-9433
アスレ㈱	501-3203	岐阜県関市神野116	0575-20-2033
㈱ALIVE	424-0844	静岡市清水区西高町12-29	054-355-4001
㈱e会員権	231-0014	横浜市中区常盤町3-21 7ライアンス関内ビル	045-222-6521
㈱ヴィラ北軽井沢	377-1412	群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢1924-172	0279-84-5555
㈱N.F.C	453-6127	名古屋市中村区平池町4-60-12カポハビル127F	052-583-6871
鹿島建設㈱	107-8388	東京都港区元赤坂1-3-1	03-6438-2272
㈱観光企画設計社	105-0004	東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル6階	03-6430-9011
㈱きんでん	531-0074	大阪市北区本庄東2-3-41	06-6375-6010
サッポロビール㈱	150-8522	東京都渋谷区恵比寿4-20-1	03-5475-0626
㈱サンゲツ	140-8611	東京都品川区東品川3-20-17	03-3474-1245
サントリーコーポレートビジネス㈱	450-6640	名古屋市中村区名駅1-1-3 JRビル40F	052-583-6130
住商インテリアインターナショナル㈱	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋ビル1階	03-5577-1761
㈱ダイヤモンドSR	542-0083	大阪市中央区東心斎橋1-4-7-601	06-6245-1505
(一社) 日中経済文化交流協会	135-0007	東京都江東区新大橋1-12-11 安川ビル4F	03-5638-2125
㈱日本経済広告社	101-8323	東京都千代田区神田小川町2-10	03-5282-8000
㈱パンインテリアプロダクト	110-0016	東京都台東区台東4-8-5 T&T御徒町ビル	03-5818-6941
㈱マイリゾート	420-0847	静岡市葵区西千代田町10-4	054-247-7771
㈱マザーブレイン	151-0061	東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル619	03-6276-0863
㈱丸八真綿	222-0033	横浜市港北区新横浜3-8-12	045-471-0818
㈱安井建築設計事務所	540-0034	大阪市中央区島町2-4-7	06-6943-1371
㈱ヤマグチ企画	425-0075	焼津市西焼津15-15	054-631-6037
㈱悠久	547-0014	大阪市平野区長吉川辺3-9-18	06-4305-7030
リゾート・ステーション㈱	103-0027	東京都中央区日本橋3-3-12 E-1ビル6F	03-3271-5233
㈱リゾートライフ	460-0002	名古屋市中区丸の内2-19-25MS桜通ビル1F	052-222-0246
㈱リプロ	332-0001	川口市朝日4-4-4	048-211-5990
㈱リミックスポイント	106-6236	東京都港区六本木3-2-1住友不動産六本木グランドタワー36階	03-6303-0328
㈱ワタベ印刷所	961-0936	白河市大工町18	0248-22-3241